毎日を笑顔で過ごせるように願いを込めて……

2025年1月号

石日和（いしびより）ニュースレター

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

さて令和七年（2025年）は「乙巳（きのと・み）」の年です。

乙（きのと）は十干の2番目にあたり、草木に象徴されるように、柔軟でしなやかに伸びていくことや、困難があっても紆余曲折を経て進んでいく意味があります。

また巳（み・へび）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから再生や変化を表しています。これらの意味を組み合わせた乙巳（きのと・み）の年は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になりそうです。

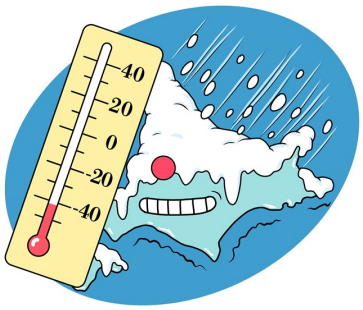
時代の変化と共に、弊社も柔軟に対応していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

知っていますか？ 1月の記念日

●1月25日は「日本最低気温の日」です

北海道上川地方旭川市で、1902年（明治35年）のこの日に日本の気象観測史上の最低気温、マイナス41.0℃を記録しました。ちなみに日本の過去の最高気温は、2018年7月23日に埼玉県熊谷市で観測された41.1℃！

2020年8月17日の静岡県浜松市の気温と同じで、2025年現在どちらも「日本最高気温の日」になっています。



■発行者：石日和（いしびより）

石を通じて「暮らしを豊かにし、喜んでいただけるものをお届けする」という想いで、地域の皆様と共に歩んでまいります。

代表：泉 充

泉 亨（とおる）

泉 努（つとむ）

竹 本

◆石日和（いしびより）熊本店
0120-135-515
熊本市南区城南町千町1628-2-3F

◆石日和 大矢野展示場
TEL:0964-59-2930

◆泉石材店 0120-121-295

※仏事クイズの答え：③

※まちがいさがしの答え：1）門松　2）鳥居の形　3）お父さんの前髪

～お墓・仏事のミニ知識～

「おみくじ」の元祖、元三大師

気軽に楽しめる占いとして身近な「おみくじ」。初詣では必ずおみくじを引く、という方も多いのではないでしょうか？古代、おみくじは神の意思を占うものとして用いられてきました。現代のおみくじの元祖と言われているのは、平安時代の天台宗の僧侶慈恵大師で、観音菩薩に祈念して授かった五言四句の偈文(げもん)100枚のうち1枚を引かせたのがおみくじの原型と言われており、江戸時代になってこれが全国に広まっていきました。慈恵大師は1月3日に亡くなったことから元三大師とも呼ばれ、比叡山延暦寺の元三大師堂は「おみくじ発祥の地」として知られています。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q お墓に彫刻されている「家紋」。現在日本に存在する家紋は、何種類あるといわれているでしょう？

① 500種類

② 1000種類

③ 5000種類

ヒント 一般的な分類では240種類ほどが存在するそうですが、細かく分類すると約3万種類とも言われています。

まちがいさがし

上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。